

〔省令第8条の4の5 (1,000トン以上排出事業者用) 〕

様式第2号の8(第8条の4の5関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月12日

長野市長 萩原健司 様

提出者

住所 長野市大字村山348番地1

氏名 株式会社 北條組

代表取締役 北條將隆

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-244-4347

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他  
その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称 株式会社 北條組

事業場の所在地 長野市大字村山348番地1

計画期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設業
②事業の規模	資本金9,800万円
③従業員数	106名
④産業廃棄物の一連の処理工程	紙マニフェスト及び電子マニフェストにて運用 産業廃棄物発生→産業廃棄物処理委託契約(収集運搬業者・処理業者それぞれと 契約)→運搬(自社・収集運搬業者)→再利用及び処理→契約書・マニフェスト (5年間保存)

(日本工業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

## (管理体制図)

社長  
 ↓  
 土木部長・建築部長（各現場、運搬業者・処分先等指示）  
 ↓  
 各工事現場、現場代理人（建設廃棄物委託契約書・マニフェスト発行、管理）  
 ↓  
 各部集計担当（建設廃棄物委託契約書・マニフェスト発行、集計）  
 ↓  
 安全環境品質管理室（各工事完了後委託契約書・マニフェスト管理）

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】							
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管理	石綿含有産業廃棄物
	排出量		52.61t	7.39t	4,723.12t		2.96t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず			
	排出量		1,575.08t	45.02t			
	(これまでに実施した取組) 混合廃棄物は「燃える物」「燃えない物」等に分別し、できる限り排出量削減を徹底した。						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管理	石綿含有産業廃棄物
	排出量		50.00t	7.00t	4,500.00t		2.50t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず			
	排出量		1,500.00t	45.00t			
	(今後実施する予定の取組) 各現場において、廃棄物の縮減目標（過去年次の何%）を定め削減に努力する。						

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物は「燃える物」「燃えない物」等に分別し、できる限り排出量削減をした。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各現場において、廃棄物の縮減目標（過去年次の何%）を定め削減に努力する。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項





備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処理事項		産業廃棄物の種類（実績値・計画値）											合計	
		汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチ)	ガラス・コンクリート・陶磁器／アフコア	がれき類(コンクリリート・がら、廃アフコア)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	金属くず	その他	その他		
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)		52.61t	7.39t	4,723.12t		2.96t		1,575.08t	45.02t				6,406.18t
	本年度排出量(計画)		50.00t	7.00t	4,500.00t		2.50t		1,500.00t	45.00t				6,104.50t
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
自ら行う(行った)中間処理により減量する(した)量	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
全処理委託量	前年度実績		52.61t	7.39t	4,723.12t		2.96t		1,575.08t	45.02t				6,406.18t
	本年度計画(目標)		50.00t	7.00t	4,500.00t		2.50t		1,500.00t	45.00t				6,104.50t
優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績		52.61t	7.39t			2.96t							62.96t
	本年度計画(目標)			7.00t			2.50t							9.50t
再生利用業者への処理委託量	前年度実績				4,723.12t				1,575.08t					6,298.20t
	本年度計画(目標)				4,500.00t				1,500.00t					6,000.00t
認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績									.				
	本年度計画(目標)													
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績													
	本年度計画(目標)													

## 【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。